

## 注 意 事 項

1. 試験問題の数は 55 問で解答時間は正味 1 時間 15 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

(例 1)、(例 2)及び(例 3)の問題では 1 から 4 までの 4 つの選択肢、もしくは 1 から 5 までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例 1)、(例 2)では 1 つ、(例 3)では 2 つ選び答案用紙に記入すること。

なお、(例 1)、(例 2)の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。(例 3)の質問には、1 つ又は 3 つ以上解答した場合は誤りとする。

(例 1)

101 助産業務を行うことが可能となるのはどれか。

1. 国家試験受験日以降
2. 合格発表日以降
3. 合格証書受領日以降
4. 助産師籍登録日以降

正解は「4」であるから答案用紙の④をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

101	①	②	③	④
			↓	
101	①	②	③	●

答案用紙②の場合、

101	101
①	①
②	②
③	③
④	●

→

(例 2)

102 助産師の離職時の届出が定められているのはどれか。

1. 医療法
2. 学校教育法
3. 母子保健法
4. 保健師助産師看護師法
5. 看護師等の人材確保の促進に関する法律

正解は「5」であるから答案用紙の⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、					答案用紙②の場合、					
102	①	②	③	④	⑤	102	102			
			↓			①	①			
102	①	②	③	④	●	②	②			
						③	→ ③			
						④	④			
						⑤	●			

(例 3)

103 助産師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の①と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、					答案用紙②の場合、					
103	①	②	③	④	⑤	103	103			
			↓			①	●			
103	●	②	③	④	●	②	②			
						③	→ ③			
						④	④			
						⑤	●			









1 親性について正しいのはどれか。

1. 養育行動に影響する。
2. 社会的な性役割を含んでいる。
3. 母性と父性とを統合した概念である。
4. 子どもが生まれると自然に獲得される。

2 精巣に最も近い精子の輸送路はどれか。

1. 精 囊
2. 精 管
3. 射精管
4. 精巣上体

3 最も母体側に位置する卵膜の構造物はどれか。

1. 羊 膜
2. 脱落膜
3. 絨毛膜
4. 子宮漿膜

4 生後1週の新生児の生理的な睡眠について正しいのはどれか。

1. 睡眠周期は約4時間である。
2. 1日の睡眠時間は12時間以下である。
3. ノンレム睡眠が睡眠時間全体の70%以上を占める。
4. 周期性呼吸はノンレム睡眠よりもレム睡眠のときに多い。

5 6か月齢以下の乳児に対しRSウイルス感染症の予防のために投与するパリビズマブの適応はどれか。

1. 出生体重 2,500 g 未満
2. 在胎 35 週以下での出生
3. Turner〈ターナー〉症候群
4. 風疹抗体が陰性の母体からの出生

6 高校2年生 100 人を対象に、助産師 3 人で全 3 回の性教育を行うことにした。第 1 回目は性に関する知識を獲得することを目標に専門家による講義を行った。第 2 回目は性感染症が自分にも起こりうる問題として捉えられることを目標に設定した。

第 2 回目の健康教育の方法で最も適切なのはどれか。

1. 助産師が講義を行う。
2. 1 人の生徒が体験談を話す。
3. 少人数でのグループワークを行う。
4. 男女を 1 人ずつ選びロールプレイを行う。

7 A さん(17 歳、女子、高校生)。月経不順のため受診した。「付き合っている彼が、最近メールの返信が遅れると怒るので怖い」と診察後に助産師に話した。

A さんへの対応で適切なのはどれか。

1. 「気にし過ぎではないですか」
2. 「彼とは別れたほうがいいですね」
3. 「もう少し詳しく聞かせてください」
4. 「私が彼に怒らないように言いましょう」



8 成熟期女性の健康問題で正しいのはどれか。

1. 早発閉経では骨量が増加する。
2. るいそうでは月経不順が生じる。
3. 未産婦では子宮体癌のリスクが低い。
4. 子宮腺筋症では過少月経が生じやすい。

9 受胎調節実地指導員について正しいのはどれか。

1. 母体保護法に定められている。
2. 少子化の改善を目的としている。
3. 子宮内避妊器具(IUD)を挿入できる。
4. 厚生労働大臣の認定する講習を受ける必要がある。

10 Aさん(28歳、初産婦)。分娩開始から8時間が経過した。内診所見は、子宮口7cm開大、展退度80%、Station±0。陣痛間欠3～4分、陣痛発作40秒。Aさんは「手がしびれて、なんだか頭がボーッとします」と言った。体温36.8℃、呼吸数48/分、脈拍80/分、血圧134/70 mmHg。

Aさんの状態として最も考えられるのはどれか。

1. 代謝性アシドーシス
2. 代謝性アルカローシス
3. 呼吸性アシドーシス
4. 呼吸性アルカローシス

11 胎盤、臍帯および卵膜の写真(別冊No. 1)を別に示す。

胎盤、臍帯および卵膜の所見で正しいのはどれか。

1. 周郭胎盤
2. 膜状胎盤
3. 臍帯の過捻転
4. 臍帯の卵膜付着



12 Aさん(27歳、女性、未婚)。2年前から精神科に通院し、うつ病の診断にて選択的セロトニン再取り込み阻害薬(SSRI)を内服している。発症時には希死念慮があったが、現在の症状は内服によって落ち着いている。最終月経から5週経っても月経がなく、市販の妊娠検査薬で陽性であったため産婦人科を受診した。経膈超音波検査で子宮腔内に15mmの胎嚢を認めた。Aさんは「うつ病があるので今後どうなるか不安です」と言う。

助産師の説明内容で適切なのはどれか。

1. パートナーとの入籍を勧める。
2. 人工妊娠中絶の適応となると伝える。
3. 薬の内服をいったん中止するよう勧める。
4. 薬について精神科の主治医に相談するよう勧める。

13 日本の平成22年(2010年)以降の母子保健統計について正しいのはどれか。

1. 自然死産率は人工死産率よりも高い。
2. 妊産婦死亡率は緩やかに低下を続けている。
3. 乳児死亡の原因で最も多いのは不慮の事故である。
4. 母の年齢階級別出生率が最も高いのは30～34歳である。

- 14 助産録について正しいのはどれか。
1. 記載事項は医療法に定められている。
  2. 帝王切開術の場合は記載義務はない。
  3. 電子カルテの場合の保存期間は3年である。
  4. 記載義務は保健師助産師看護師法に定められている。
- 15 助産所における嘱託医師および嘱託医療機関について正しいのはどれか。
1. 嘱託医療機関には小児科がなくてもよい。
  2. 嘱託医師は産科または産婦人科の医師でなくてもよい。
  3. 分娩を取り扱わなくても嘱託医師および嘱託医療機関の確保が必要である。
  4. 包括的指示書の変更は、その旨を記載して嘱託医師および嘱託医療機関と共有する。
- 16 産科病棟における管理について適切なのはどれか。
1. 管理者は助産師でなければならない。
  2. 助産師の配置数は年間分娩数によって決められている。
  3. ハイリスク妊娠管理加算は算定できる日数に制限がある。
  4. 総合周産期医療特定集中治療室管理料の施設基準では入院患者5人に助産師1人の勤務が必要である。
- 17 着床前診断の対象となるのはどれか。
1. 年齢35歳以上の女性
  2. 遺伝性婦人科癌の家族歴がある女性
  3. Down〈ダウン〉症候群の児の分娩歴がある女性
  4. 体外受精を繰り返しても妊娠しない着床不全の女性
  5. 均衡型染色体構造異常に起因すると考えられる習慣流産の女性

18 常染色体劣性遺伝疾患はどれか。

1. アンドロゲン不応症
2. 先天性副腎過形成症
3. Down〈ダウン〉症候群
4. Turner〈ターナー〉症候群
5. Duchenne〈デュシェンヌ〉型筋ジストロフィー

19 正常新生児の呼吸循環生理で正しいのはどれか。

1. 肺水の大部分は児の口鼻腔から排出される。
2. 出生直後から肺血管抵抗は上昇する。
3. 出生直後の肺胞の拡張には 10 cmH<sub>2</sub>O の圧力が必要である。
4. 生後の動脈血酸素分圧 (PaO<sub>2</sub>) の上昇によって動脈管が開く。
5. 生後の肺血流量の増加によって卵円孔が閉鎖する。

20 28歳の初産婦。妊娠初期に検査した随時血糖の値は正常であった。妊娠20週0日、尿糖が陽性であったため血液検査を実施し、空腹時血糖 140 mg/dL、HbA1c 7.0%であった。今まで糖尿病と診断されたことはなかった。

この妊婦の現在の状態のアセスメントとして正しいのはどれか。

1. 血糖に異常はみられない。
2. 糖尿病の前段階である。
3. 妊娠による一時的な耐糖能異常である。
4. 妊娠糖尿病である。
5. 妊娠時に診断された明らかな糖尿病である。

21 出生後 30 分の正期産児で異常所見はどれか。

1. 体温 37.3℃
2. 心拍数 80/分
3. 呼吸数 45/分
4. 末梢性チアノーゼ
5. 経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO<sub>2</sub>〉97%

22 新生児生理的黄疸について正しいのはどれか。

1. 母乳性黄疸と同義である。
2. ALT〈GPT〉の上昇を伴う。
3. 生後 24 時間以内に出現する。
4. 間接ビリルビン優位の黄疸である。
5. 母が O 型で児が A 型の血液型で発症しやすい。

23 狭骨盤の定義における産科的真結合線の値で正しいのはどれか。

1. 7.5 cm 未満
2. 8.5 cm 未満
3. 9.5 cm 未満
4. 10.5 cm 未満
5. 11.5 cm 未満

24 分娩第2期における産婦の体位と起こりやすい異常との組合せで正しいのはどれか。

1. 座位 ————— 微弱陣痛
2. 仰臥位 ————— 血圧上昇
3. 蹲踞位 ————— 分娩時異常出血
4. 側臥位 ————— 第3度以上の会陰裂傷
5. 四つんばい ————— 膣壁血腫

25 32歳の初産婦。喘息を合併している。妊娠28週のときに喘息発作を起こした。現在はステロイド吸入薬を使用し、症状は落ち着いている。妊娠39週5日、陣痛発来で入院した。内診所見は、子宮口4cm開大、展退度60%、Station -2、未破水であった。その後、陣痛の増強はなく内診所見も変化がない。胎児心拍数に異常はなく、微弱陣痛のため分娩を促進することになった。

適切な方法はどれか。

1. 人工破膜
2. ラミナリア桿の挿入
3. メトロイリンテルの挿入
4. オキシトシンの点滴静脈内注射
5. プロスタグランディン  $F_{2\alpha}$  の点滴静脈内注射

26 妊婦が順調に母親役割を獲得することを目標とした母親学級の開催方法で適切でないのはどれか。

1. 個別相談の場を設ける。
2. 新生児用品について説明する。
3. 初産婦と経産婦とに分けて開催する。
4. 参加者同士が交流できる時間を設ける。
5. ベビー人形を使った演習を取り入れる。

27 34歳の褥婦。産褥1日。膣壁に血腫が認められ、切開し縫合手術を行うことになった。手術前に、セフェム系の抗菌薬の点滴静脈内注射を開始した直後から呼吸困難と悪心とを訴え、顔面にチアノーゼがみられた。

このときの第一選択薬として正しいのはどれか。

1. ヘパリン
2. アドレナリン
3. 抗ヒスタミン薬
4. グルココルチコイド
5. プロスタグランディン

28 入院中の正常新生児の清潔ケアで正しいのはどれか。

1. 胎脂を積極的に拭き取る。
2. ドライテクニックは低体温を予防する。
3. 沐浴での入湯の時間は10分以上かける。
4. ポビドンヨードで臍帯切断面を消毒する。
5. 排便後は毎回、殿部を石けんで洗浄する。

29 在胎 38 週 3 日、出生体重 2,800 g で出生した男児。生後 4 日、助産師は「赤ちゃんがずっと眠っていて、母乳を飲んでくれません」と母親から相談を受け、新生児を診察した。児は体温 36.5℃ で下肢に末梢冷感があり、呼吸数 60/分 で異常呼吸音はない。心拍数 180/分 で心雑音はないが、下半身にチアノーゼが認められたため、医師に診察を依頼した。

最も考えられる疾患はどれか。

1. 敗血症
2. 低体温症
3. 先天性心疾患
4. 新生児一過性多呼吸
5. 脳室周囲白質軟化症

30 1 か月児健康診査時の予防接種に関する保健指導で正しいのはどれか。

1. 「BCG は生後 12 か月から接種が可能です」
2. 「肺炎球菌ワクチンは定期接種ではありません」
3. 「Hib ワクチンは生後 2 か月から接種が可能です」
4. 「生ワクチンと不活化ワクチンとの同時接種はできません」
5. 「インフルエンザワクチンは生後 1 か月から接種が可能です」

31 日本の平成 25 年(2013 年)の年齢階級別がん死亡部位内訳において、40 歳以上 50 歳未満の女性で、死亡数が最も多いがん発生部位はどれか。

1. 胃
2. 肺
3. 子宮
4. 乳房
5. 肝臓



32 保健師助産師看護師法に定められていないのはどれか。

1. 助産所開設の届出
2. 異常死産児の届出
3. 業務従事者の届出
4. 出生証明書の交付
5. 臨床研修の努力義務

33 助産師外来の活動内容として適切でないのはどれか。

1. 胎児の先天奇形の診断
2. 夫の育児参加への助言
3. 予防接種についての情報提供
4. 妊娠中の適切な体重管理の指導
5. 正常な妊娠経過からの逸脱のアセスメント

34 妊娠の成立に関して正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 受精は子宮腔内で起こる。
2. 受精卵は桑実胚期に着床する。
3. 受精後3日目に透明帯が消失する。
4. 子宮内膜の分泌期に受精卵が着床する。
5. 子宮内膜の増殖はエストロゲンの作用である。

35 妊婦の伝染性紅斑について適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 胎児水腫が発生する危険がある。
2. 感染予防のためのワクチンがある。
3. 皮疹の出現中は他者への感染力が強い。
4. ヒトパルボウイルス B19 による感染である。
5. 胎児死亡率は妊娠 20 週以降に感染したとき高率である。

36 バイオフィジカルプロファイルスコアの評価で正常と判断するのはどれか。2つ選べ。

1. 5 cm の羊水ポケットが確認できる。
2. 四肢の運動が 30 分間に 1 回確認できる。
3. 手掌の開閉運動が 30 分間に 3 回確認できる。
4. NST で一過性頻脈が 20 分間に 1 回確認できる。
5. 20 秒続く呼吸様運動が 30 分間に 1 回確認できる。

37 胎児体重の推定に用いられるのはどれか。2つ選べ。

1. 頭殿長
2. 大腿骨長
3. 上腕骨長
4. 児頭大横径
5. 児頭大斜径

38 経膈分娩後に正常に経過している産褥6週の褥婦の状態正しいのはどれか。

2つ選べ。

1. 子宮の重さは約70gである。
2. 外子宮口は2cm開いている。
3. 血液凝固機能は亢進している。
4. 循環血液量は非妊時より多い。
5. 腎血流量は非妊時の状態に回復している。

39 マタニティブルーズについて正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 幻覚妄想状態となる。
2. 産後4週以降に発現する。
3. 身体的不調の原因となる。
4. 一過性の情動の障害である。
5. 抗うつ薬による治療が必要である。

40 性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律において、性別の取扱いの変更を家庭裁判所で審判することができる条件はどれか。2つ選べ。

1. 現に未成年の子がいないこと
2. ホルモン治療を受けていること
3. 性染色体の核型が正常ではないこと
4. 生物学的性と同一の性への恋愛感情を有すること
5. 生殖腺がないこと又は生殖腺の機能を永続的に欠く状態にあること

次の文を読み 41～43 の問いに答えよ。

Aさん(37歳、女性)。常勤の会社員。結婚して2年間、基礎体温を記録して排卵に合わせて性交渉を行っていたが、妊娠に至らなかった。義母の強い勧めがあり、Aさん1人で不妊専門クリニックを受診した。月経周期は28日型、持続日数は5日、基礎体温は二相性である。

41 初診時に確認すべき情報で最も優先されるのはどれか。

1. 経済力
2. 仕事の継続の意思
3. 不妊治療に対する義母の考え
4. 不妊治療に関する夫婦の合意

42 初診時の診察では、子宮や卵巣に形態異常はなかった。Aさんは月経4日目に再受診した。

Aさんに行く検査で適切なのはどれか。

1. 子宮卵管造影
2. フーナー試験
3. 卵管通水検査
4. ホルモン基礎値の測定

43 その後、Aさんは2年間外来で治療を受けたが妊娠には至らなかった。夫婦で相談し、体外受精を試みることにした。

Aさんへの説明で正しいのはどれか。

1. 「採卵のタイミングに合わせて夫に採精してもらう必要があります」
2. 「Aさんの場合、妊娠する確率は60%以上です」
3. 「妊娠した場合、流産する確率は10%以下です」
4. 「胎児の心奇形の発生率は自然妊娠より高くなります」

次の文を読み 44～46 の問いに答えよ。

Aさん(40歳、初産婦)。半年間の不妊治療を受け、クエン酸クロミフェンの内服によって妊娠に至った。経膈超音波検査で子宮内に胎嚢が3つ認められ、三胎妊娠と診断された。妊娠9週で総合周産期母子医療センターの産科に紹介され受診した。

44 妊娠25週5日、Aさんは少量の出血があり、救急外来を受診した。「今朝から時々下腹部が硬くなる感じがして、痛いときもありました」と言う。救急外来受診時の経膈超音波検査の写真(別冊No. 2)を別に示す。子宮頸管長は23.4 mmであった。

Aさんに認められる所見はどれか。2つ選べ。

1. 内子宮口の開大
2. 頸管長の短縮
3. 辺縁前置胎盤
4. 胎胞の膨隆
5. 臍帯下垂

別 冊

No. 2

45 Aさんは入院し、リトドリン塩酸塩の点滴静脈内注射が開始された。しかし、開始翌日から全身の発疹と肝機能異常とが出現したため、リトドリン塩酸塩は中止となり、マグネシウム硫酸塩の点滴静脈内注射に変更された。助産師が訪室するとAさんは「ずっと全身がほてって、だるい感じです」と訴えた。体温 36.7℃、脈拍 80/分、血圧 128/80 mmHg。

今後最も注意すべき所見はどれか。

1. 手指の振戦
2. 下腿の浮腫
3. 腱反射の消失
4. 耳下腺の腫脹
5. 両側の視野狭窄

46 妊娠 31 週 1 日。Aさんに 38.2℃の発熱がみられた。感冒様症状や尿混濁はない。診察したところ膣内に血液の混じった液体の貯留があり、破水検査の判定結果は陽性であった。子宮口は 1 cm 開大しており、最も下降している胎児の先進部は両足である。児の推定体重はそれぞれ 1,560 g、1,400 g、1,320 g であった。抗菌薬の点滴静脈内注射が開始された。血液検査の結果、白血球 15,500/ $\mu$ L、CRP 5.8 mg/dL であった。

Aさんに行われると予想される治療はどれか。

1. 1日3回の膣内洗浄
2. 抗菌薬膣錠の挿入
3. リトドリン塩酸塩の再開
4. 子宮頸管縫縮術
5. 帝王切開術

次の文を読み 47～49 の問いに答えよ。

Aさん(32歳、初産婦)。病院で妊婦健康診査を受けており、妊娠経過は順調であった。妊娠35週3日、妊婦健康診査で行われたスクリーニング検査で、肛門周囲からB群溶血性レンサ球菌(GBS)が検出された。Aさんは児への感染を心配している様子である。

47 Aさんへの説明で最も適切なのはどれか。

1. 「分娩のときに抗菌薬の点滴で予防します」
2. 「抗菌薬を1週間、毎日内服してください」
3. 「手洗いを徹底してください」
4. 「性交渉は控えてください」
5. 「週に1回膣洗浄をします」

48 妊娠37週3日に妊婦健康診査を受診した。子宮底長34cm、第1頭位。経腹超音波検査では胎児の推定体重は2,850gで、胎盤位置は子宮底部で羊水量は正常である。内診所見は、子宮口2cm開大、展退度50%、Station -2。胎児心拍数陣痛図(別冊No. 3)を別に示す。

胎児心拍数陣痛図で認められる所見はどれか。

1. 胎児心拍数基線の上昇
2. 基線細変動の減少
3. 変動一過性徐脈
4. 遅発一過性徐脈
5. 一過性頻脈

別 冊

No. 3



49 妊娠 39 週 1 日、A さんは自宅にて睡眠中に突然下着とシーツとが濡れて目が覚め、受診している病院に電話連絡した。子宮収縮の自覚はなく、いつもどおりの胎動を感じている。性器出血はない。

電話を受けた助産師の指示で最も適切なのはどれか。

1. 「規則的におなかが張ってくるようなら来院してください」
2. 「尿漏れかもしれないので様子を見てください」
3. 「出血があればまた電話で連絡してください」
4. 「今すぐ来院してください」

次の文を読み 50～52 の問いに答えよ。

Aさん(32歳、2回経産婦)。これまでの出産はいずれも正常分娩であった。診療所に通院し、今回妊娠経過中に特に異常の指摘はなかった。妊娠41週1日、前期破水にて入院。入院時の内診所見は、子宮口4cm開大、展退度60%、Station-2、子宮頸管の硬度は中、子宮口の位置は後方であった。

50 入院後12時間が経過し、内診所見は、子宮口8cm開大、展退度80%、Station+1、子宮頸管の硬度は軟、子宮口の位置は前方であった。陣痛間欠4分、陣痛発作60秒で、大泉門が先進し1時方向に触れる。

この時点でのアセスメントで正しいのはどれか。

1. 正常経過
2. 微弱陣痛
3. 高在縦定位
4. 前方前頭位
5. 後方後頭位

51 子宮口全開大後2時間、大泉門が先進し0時方向に触れる。産瘤が形成されており、発作時には恥骨結合後面下縁のみを触れる。陣痛発作のたびに最下点90bpm前後の変動一過性徐脈がみられているが、間欠時には回復している。助産師は吸引分娩となる可能性を考え、準備を始めた。

現在、児頭最大径が位置すると考えられる骨盤の位置はどれか。

1. 入口部
2. 濶部
3. 峽部
4. 出口部

52 分娩第2期遷延、分娩停止のため吸引分娩が施行され、4回の吸引によって、3,880 gの男児が娩出された。羊水混濁2+、出生直後から啼泣があり、Apgar〈アプガー〉スコアは1分後7点(皮膚色-2点、筋緊張-1点)、5分後8点(皮膚色-1点、筋緊張-1点)、臍帯動脈血pH7.20であった。クベースに収容され、経過観察となった。出生後2時間、頭部に暗赤色で骨縫合を超える腫瘍が認められ、指で押すと陥凹した。体温37.0℃、呼吸数70/分、脈拍170/分。鼻翼呼吸がみられる。

この新生児に必要な対応はどれか。2つ選べ。

1. 光線療法
2. 腫瘍の穿刺
3. 脳低温療法
4. 静脈路の確保
5. NICUへの搬送

次の文を読み 53～55 の問いに答えよ。

Aさん(28歳、1回経産婦)。妊娠41週2日、陣痛発来にて入院した。陣痛発来から6時間後に破水し、羊水混濁を認めた。胎児心拍数陣痛図では高度の変動一過性徐脈を認め、吸引分娩で3,700gの児を娩出した。出生直後に啼泣はなく、出生から30秒後にはあえぎ呼吸で筋緊張が低下していたため人工換気を開始した。このときの心拍数は6秒間に4回であった。

53 新生児蘇生法ガイドライン2010に基づいて新生児蘇生を行う場合、この時点で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. CPAPを開始する。
2. 気管挿管を検討する。
3. あえぎ呼吸は無呼吸と判断する。
4. アドレナリンの投与を検討する。
5. 胸骨の上部3分の1の部位を圧迫する。

54 すべての蘇生処置が終了した直後の児の呼吸数は90/分、陥没呼吸が著明で、聴診では呼吸音に伴ってラ音と捻髪音とが広範囲に聴取された。この時点で撮影した児の胸部エックス線写真(別冊No. 4)を別に示す。

この児に最も疑われる疾患はどれか。

1. 気胸
2. 心不全
3. 肺低形成
4. 胎便吸引症候群
5. 先天性横隔膜ヘルニア

別冊 No. 4
-------------

55 出生後1時間が経過した。中心性チアノーゼが改善せず、NICUを有する周産期母子医療センターへの児の搬送が決定された。

この時点でのAさんへの説明で最も適切なのはどれか。

1. 「赤ちゃんはすぐによくなります」
2. 「医師からの説明は搬送の後に行います」
3. 「赤ちゃんの説明はまずお父さんに行います」
4. 「赤ちゃんと一緒に転院できるか確認します」
5. 「処置中の赤ちゃんには会わないようにしましょう」















